

Live Love Animals りぶ・らぶ・あにまるず ICAC KOBE 2015

ICAC KOBE 2015



～阪神・淡路大震災の経験を、人と動物の幸せな未来へ～

第4回 神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議 2015

— 阪神・淡路大震災 20年記念大会 One World, One Life —

— Turning the the Great Hanshin-Awaji Earthquake into Brighter Futures for People and Fellow Animals —

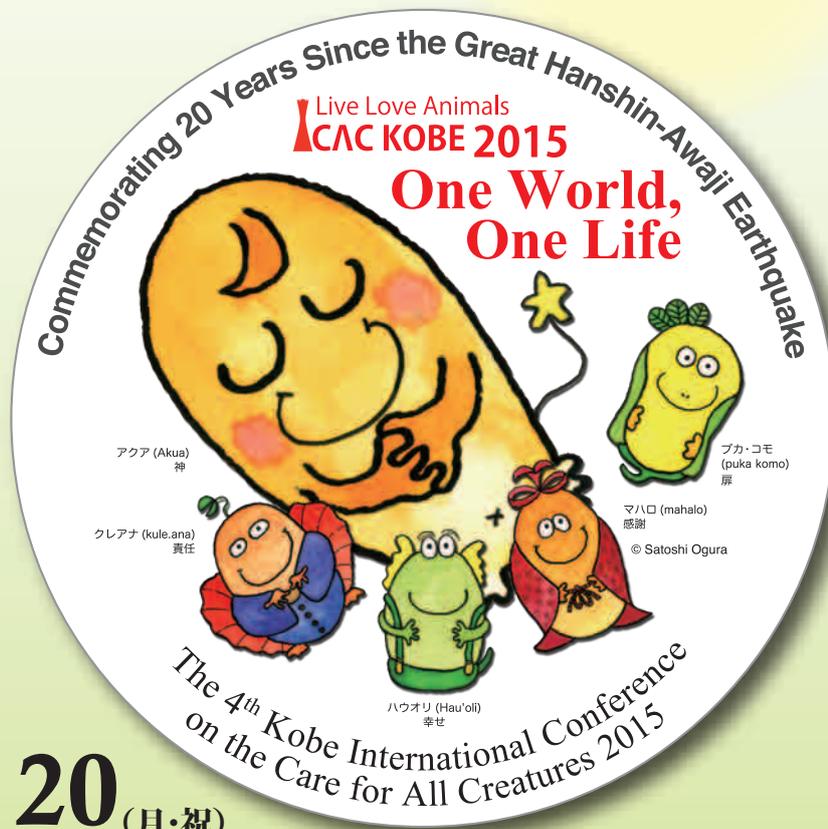
The 4th Kobe International Conference on the Care for All Creatures 2015

— Commemorating 20 Years Since the Great Hanshin-Awaji Earthquake — One World, One Life

阪神・淡路大震災の経験を 人と動物の幸せな未来へ

私たちは、あの震災から何を学んだのか。
そして、人間が果たすべき役割とは何か…。

入場
無料



開催日

2015年

7/19 (日)・20 (月・祝)

開催場所 神戸大学統合研究拠点 (国際会議) / 神戸ポートピアホテル (レセプション)

主催 ICAC KOBE 阪神・淡路大震災20年記念大会実行委員会

実行委員会構成団体：神戸市 / 兵庫県動物愛護センター / 公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類 / 公益社団法人 日本動物病院協会 / 公益社団法人 日本動物福祉協会 / 公益社団法人 Knots (事務局)

共催 公益社団法人 日本医師会 / 近畿地区連合獣医師会 / 神戸市動物愛護協会

特別協賛  日本ヒルズ・コルゲート株式会社 シンポジウム支援企業  ロイヤルカナンジャパン

会議支援企業 アサヒグループホールディングス株式会社 / 六甲山カンツリーハウス / DSファーマアニマルヘルス株式会社

会議アドバイザー 竹内 勤氏 (慶應義塾大学 名誉教授 / 慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 客員上席研究員)

松沢 哲郎氏 (京都大学 霊長類研究所 教授 / 公益財団法人 日本モンキーセンター 所長)

奥野 卓司氏 (関西学院大学 総合図書館長・社会学部 教授 / 放送大学大学院客員教授 / 山階鳥類研究所 特任研究員)

(順不同)

目的

この会議は、阪神・淡路大震災15周年を契機に、全ての動物を対象とし、そのより良いケアや生息環境の保全を目指すための情報交換・新技術の創出等を議論することにより、人を含む世界中の動物の福祉を向上させ、以って、我々人間が果たしうる責任を広く社会に示し、幸福な人と動物との共生を更に前進させることを目的とする。

開催趣旨

— One World, One Life —

「お互いの存在に『感謝』し、生ある限りは『幸せ』に暮らすこと。それが、いのちに対する『責任』である」

阪神・淡路大震災から20年が経ちます。大きな災害は、ごく普通の日常が、どんなに脆く、大切に、守らねばならないものかを教えてくれました。それは、どんな生き物にとっても同じでした。また、生き物の暮らしを襲う危機は、大きな災害だけではなく、老いや疾病、事故や戦争、貧困と、様々な要因で私達を襲います。それに対し、社会は、高度な専門性を以て、対処してきました。

世界はグローバル化し、地球は小さくなりました。私達は、今や世界との繋がり無しに、自分達の生活を考えることは出来ません。そして今、様々な課題解決の為に、分野を越えた連携も広く求められています。

生きとし生けるものが、この地球上で幸せに暮らせる社会にしていく為、様々な専門分野の連携のもと、私達人間に来ることを幅広く議論する場を提供し、「ひとつの豊かな地球は、ひとつひとつのいのちの幸せを繋いでいくことで構築されていく」— One World, One Life — 概念構築の第一歩と致します。



▲ 第3回大会の基調講演の様子

基調シンポジウム

各年度の大会において、最も関心事の高いテーマをオープニングの基調講演としてご講演頂いています。第4回大会では、「阪神・淡路大震災の経験を、人と動物の幸せな未来へ」をテーマとして構築します。

オーラル&ポスターセッション

第3回からは、国内外の大学院生による人と動物との関わりをテーマにしたポスターセッションが開催され、多くの来場者の関心を集めました。

第4回大会では、ポスターセッションに加え、オーラルセッションも開催されます。



▶ 多くの来場者の関心を集めたポスターセッションのエリア

第4回 神戸 すべての生き物のケアを考える国際会議 2015 —ICAC KOBE 2015 プログラム

19日(日) 10:00 ~ 13:30	<ul style="list-style-type: none"> ■会場：コンベンションホール ■開会式 ■基調シンポジウム 	「阪神・淡路大震災の経験を、人と動物の幸せな未来へ — 護るべき大切な日常とは？ 生物としてのヒト、ヒトとしての社会、ヒトと自然の関わり方（仮題）」
19日(日) 14:30 ~ 17:30	<ul style="list-style-type: none"> ■シンポジウムI《会場：コンベンションホール》 「同行避難～これからの人と動物の緊急災害時」 ●主催：実行委員会 ●座長：笹井和美氏（公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類 学類長 教授） ●演者： <ol style="list-style-type: none"> 1. 「阪神大震災時の状況を踏まえた今後の取り組み（仮題）」 杉原未規夫氏（兵庫県動物愛護センター淡路支所） 2. 「静岡県災害時における愛玩動物対策行動指針」について 寺井克哉氏（静岡県健康福祉部 生活衛生局 衛生課 動物愛護班） 3. 「中越大震災時における同行避難動物への対応 — 避難所及び仮設住宅における受け入れについて」 遠山潤氏（新潟県動物愛護センター） 4. 「同行避難の必要性と実現に向かったの準備（仮題）」 山口千津子氏（公益社団法人 日本動物福祉協会） 	緊急災害時に際しては、家族の一員である動物との同行避難を原則とすることが、国（環境省）から打ち出されました。人と動物が共に暮らす社会で、家族の一員である動物の同行避難は不安ばかりの中に人と動物の双方の安心を提供するだけでなく、拒否すれば人の避難をも難しくし、残された動物による公衆衛生上の問題等様々な問題も引き起こします。過去の対応例を踏まえつつ、今後起こりうる緊急災害時における避難のあり方について考えます。
19日(日) 14:30 ~ 17:30	<ul style="list-style-type: none"> ■オーラルセッション1《会場：セミナー室》 「食の安全／人獣共通感染症」 ●運営協力：公益社団法人 日本獣医学会 	<ul style="list-style-type: none"> ■オーラルセッション2《会場：ラウンジ》 「One Plan Approach ～野生動物と共存していくための包括的な取り組み」 ●運営協力：日本野生動物医学会
19日(日) 18:30 ~ 20:30	<ul style="list-style-type: none"> ■レセプション《会場：神戸ポートピアホテル》 	

<p>20日(月・祝) 10:00～13:00</p>	<p>■シンポジウム2《会場：コンベンションホール》 「最近問題となった人と動物の共通感染症」</p> <p>●主催：人と動物の共通感染症研究会 ●座長：吉田博氏（姫野病院 名誉院長） ●演者：</p> <ol style="list-style-type: none"> 「エボラ出血熱 一リベリアにおける支援活動から学んだこと」 加藤 康幸氏（国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室長） 「70年ぶりの再興 ～デング熱国内流行とその対策～」 高崎 智彦氏（国立感染症研究所 ウイルス第一部 第2室長） 「動物を守り、自分を守る；ダニ媒介感染症 SFTS の最新の研究から」 前田 健氏（山口大学共同獣医学部 教授） 「最近問題となった動物由来感染症に対する厚生労働省の取り組みについて（仮題）」 演者未定（厚生労働省 健康局結核感染症課 担当官） 	<p>近年、感染症は世界的規模で再び出現しつつあるが、最近 30～40 年間の間に新しく出現した新興感染症や一旦制圧された感染症が再び出現した再興感染症が主な感染症である。本シンポジウムでは、最近問題となった人と動物の共通感染症のなかで、エボラ出血熱、デング熱、重症熱性血小板減少症候群と動物由来感染症に対する厚生労働省の取り組みについて紹介する。</p>
<p>20日(月・祝) 10:00～13:00</p>	<p>■シンポジウム3《会場：ラウンジ》 「災害に強い日本型畜産の構築のために」</p> <p>●主催：実行委員会 ●座長：大山 憲二氏（神戸大学大学院 農学研究科附属 食資源教育研究センター 教授） ●演者：</p> <ol style="list-style-type: none"> 「災害発生時の家畜の取扱について（仮題）」 犬飼 史郎氏（独立行政法人 家畜改良センター 改良部長） 「家畜改良センターによる外部支援について（仮題）」 吉奥 努氏（独立行政法人 家畜改良センター 熊本牧場長） 「東日本大震災における配合飼料の供給について（仮題）」 長谷川 敦氏（協同組合日本飼料工業会 参事） 「災害時における地域内での協力体制について（仮題）」 本田 義貴氏（兵庫県農政環境部 農林水産局畜産課 衛生飼料班） 	<p>日本の畜産業は、自然災害に見舞われた際「家畜を助けてあげて欲しい」という声を耳にしてきました。家畜は、私たちの生活に役立てるために生産されます。災害対応の際にはこのような家畜の本来の役割も踏まえた対応が必要です。しかし、被災した家畜の避難は様々な理由から容易ではありません。このため、自然災害のリスクを予め認識し、災害に直面しても家畜への影響が最小限となるよう平素から心がけることが重要です。このセッションでは、日本の畜産の状況も踏まえた対応の方向性を議論します。</p>
<p>20日(月・祝) 14:00～17:00</p>	<p>■オーラルセッション3《会場：セミナー室》 「教育／子ども達との関わり」</p> <p>●主催：実行委員会</p>	
<p>20日(月・祝) 14:00～17:00</p>	<p>■シンポジウム4《会場：コンベンションホール》 「地域を幸せにする伴侶動物飼育支援システム —伴侶（家庭）動物との暮らしを地域活性へ」</p> <p>●主催：公益社団法人日本動物病院協会／公益社団法人 Knots ●座長：細井戸 大成氏（公益社団法人日本動物病院協会 会長） ●モデレーター：富永 佳与子氏（公益社団法人 Knots 理事長） ●演者：</p> <ol style="list-style-type: none"> 「我が国の高齢化の状況と介護保険制度の基本的方向」 懸上 忠寿氏（厚生労働省関東信越厚生局 健康福祉部健康福祉課長） 「公益社団法人 日本動物病院協会事例（仮題）」 演者未定（公益社団法人 日本動物病院協会） 「飼い意識調査（仮題）」 西澤 亮治氏（特定非営利活動法人動物愛護社会化推進協会 事務局長） 「超保険」を通じた人とペットの幸せな未来の実現に向けて 上杉 克氏（東京海上日動火災保険株式会社） 「コーディネーターとしての地方自治体の役割」 演者未定（神戸市） 「ケアする社会へ 一見守りから始まるコミュニティづくり」 松原 一郎氏（関西大学 社会学部 教授） 	<p>「伴侶動物との暮らし」を地域に積極的に取り入れる「高齢者、子ども達、伴侶動物が楽しく一緒に暮らせる心豊かで温かな地域社会」が、大きな課題となっている高齢・単身社会に向けて、幸せな社会形態構築に繋がるひとつの解となる可能性が見えて来た。そこには、新たな事業・雇用創出の可能性もある。それを支える伴侶動物飼育支援社会システムモデルを考察する。</p> <p>サポート企業： ロイヤルカナンジャパン</p>
<p>20日(月・祝) 14:00～17:00</p>	<p>■シンポジウム5《会場：セミナー室》 「日本の災害獣医療の今後を考える」</p> <p>●主催：災害動物医療研究会 ●座長：佐伯 潤氏（くずのは動物病院 院長／災害動物医療研究会 幹事／公益社団法人大阪府獣医師会 理事） ●演者：</p> <ol style="list-style-type: none"> 「アメリカにおける災害獣医療について」 ジョン・マディガン氏（カリフォルニア大学デービス校 教授） 「日本の災害獣医療の方向性」 田中 亜紀氏（カリフォルニア大学デービス校） 	<p>阪神淡路大震災から 20 年、ハリケーンカトリーナから 10 年となり、どちらも都市が巻き込まれた大規模自然災害で、多くの人々が被災し、同時に被災動物も注目された災害でした。米国の災害獣医療の第一線で活躍されている Dr.Madigan にご講演いただき、田中亜紀先生からは、日米の状況を踏まえ、日本における災害獣医療の必要性についてご講演いただきます。今後の災害に備え、日本の災害獣医療の方向性を示せるようなシンポジウムにしたいと思います</p>
<p>20日(月・祝) 14:00～17:00</p>	<p>■オーラルセッション4《会場：ラウンジ》 「その他（仮題）」</p> <p>●主催：実行委員会</p>	
<p>20日(月・祝) 17:00～17:30</p>	<p>《会場：コンベンションホール》 ■閉会式 ■ポスターセッション優秀者発表</p>	

シンポジウム
主催団体

人と動物の共通感染症研究会／災害動物医療研究会／公益社団法人 日本動物病院協会／公益社団法人 Knots

セッション
運営支援団体

【オーラルセッション】公益社団法人 日本獣医学会／日本野生動物医学会
【ポスターセッション】公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類

特別協力

一般社団法人ペットフード協会／公益財団法人日本モンキーセンター／神戸大学大学院農学研究科／長崎大学熱帯医学研究所／北海道大学大学院獣医学研究科／帯広畜産大学獣医学課程／岩手大学農学部共同獣医学科／東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻／東京農工大学農学部共同獣医学科／岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科／鳥取大学農学部共同獣医学科／山口大学共同獣医学部獣医学科／宮崎大学農学部獣医学科／鹿児島大学農学部共同獣医学部獣医学科／酪農学園大学獣医学群／北里大学獣医学部獣医学科／日本大学生物資源科学部獣医学科／麻布大学獣医学部／日本獣医生命科学大学獣医学部／関西学院大学災害復興制度研究所／同志社大学 良心学研究センター

協 力

日本寄生虫学会／日本衛生動物学会／日本熱帯医学会／国際医療リスクマネジメント学会／日本予防医学リスクマネジメント学会／応用動物行動学会／ヒトと動物の関係学会／兵庫県立人と自然の博物館／兵庫県立コウノトリの郷公園／兵庫県森林動物研究センター／奈良県うだ・アニマルパーク振興室／公益社団法人 日本動物園水族館協会／日本クマネットワーク／ニホンジカ有効活用研究会／一般社団法人 エゾシカ協会／一般社団法人 日本 SPF 豚協会／一般社団法人 ちよだニャンとなる会／公益財団法人 日本盲導犬協会／社会福祉法人 日本介助犬協会／特定非営利活動法人 兵庫介助犬協会／社会福祉法人 兵庫盲導犬協会／社会福祉法人 日本聴導犬協会／特定非営利活動法人 聴導犬普及協会／特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会／一般社団法人 日本障害者乗馬協会／動物との共生を考える連絡会／アニマテック・オオシマ／一般社団法人 優良家庭犬普及協会／一般社団法人 日本ペット用品工業会／日本動物病院会／一般社団法人 日本動物看護職協会／ペットとの共生推進協議会／一般社団法人 ジャパンケネルクラブ／一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部／日本獣医学生協会 (JAVS)

後 援

農林水産省／環境省／厚生労働省／文部科学省／兵庫県／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／一般社団法人兵庫県医師会／公益社団法人日本獣医師会／一般社団法人 兵庫県獣医師会／公益社団法人 神戸市獣医師会／一般社団法人神戸市医師会／一般財団法人 J-HANBS／公益財団法人 日本動物愛護協会／公益社団法人 日本愛玩動物協会



アクア (神)
Akua (God)

プカ・コモ (扉)
puka komo (Door)



ハウオリ (幸せ)
Hau'oli (Happiness)



マハロ (感謝)
mahalo (Appreciation)



クレアナ (責任)
kule.ana (Responsibility)

「アクア (神)」と「プカコモ (扉)」ハワイ語で二人で「神の扉 (神戸)」という意味です。私達はアニマルケアのキーワードを表現しています。生き物本来の在り方、「ハウオリ (幸せ)」、お互いの存在への「マハロ (感謝)」、そしてこの会議のテーマ「クレアナ (責任)」です。

会議に
関する
お問合せ

ICAC KOBE (アイカック神戸) 事務局 (公益社団法人 Knots 内)

〒 658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影 3 丁目 2 番 11-20

Tel: 078-843-8970 Fax: 050-3730-0738

E-mail: icackobe@knots.or.jp <http://knots.or.jp/>

ICAC KOBE 2015 公式ウェブサイト

http://knots.or.jp/corporation/2014/10/icac-kobe2015_outline/